

今号のピックス

1 ページ・幹事会報告 ・全事研について 2 ページ・研究部活動報告



— 令和6年度 第2回 幹事会報告 —

令和7年2月18日（火）に大阪市総合教育センターにおいて第2回幹事会を開催しました。審議事項については次のとおりです。連絡事項については、各区の幹事校から送付されている幹事会レジュメをご覧ください。また、市事研ホームページにも掲載しています。

【審議事項】

1 補正予算について

雑収入等の収入、消耗品費等の支出に伴う予算補正について承認されました。

2 役員等選出委員会の設置について

次期役員等の選出を行うため、会則第21条に基づき役員等選出委員会が設置されました。幹事から5名選出された役員等選出委員は次のとおりです。

委員長：	委員：
委員：	委員：
委員：	

— 全事研について —

令和7年度の滋賀大会（7月31日～8月1日）では、大阪市も分科会を担当します！

分科会日時：8月1日（金）9時30分～12時30分

会場：ピアザ淡海（滋賀県大津市にの浜1丁目1-20）

※現時点での予定となります。詳細については改めてご案内します。

全事研は「全国公立小中学校事務職員研究会」の略称であり、義務制学校事務職員の全国的な研究組織です。市事研も全事研に加盟しています。

- ・昭和22年3月「学校教育法」制定、それに伴い学校事務職員制度も発足
- ・昭和23年8月「全国公立高等学校事務職員協会」結成
- ・昭和25年8月「全国公立学校事務職員協会」に改称
- ・昭和33年8月「全国公立小中学校事務職員研究協議会」が発足
- ・昭和42年11月「全国公立学校事務職員協会義務制部会」に一本化、学校事務の研究体制の強化を図るため、「全国公立小中学校事務職員研究会設立準備会」が発足
- ・昭和43年8月「全国公立小中学校事務職員研究会（以下、全事研）」誕生

【ミッション】子どもの豊かな育ちを支援する

【ビジョン】 目指す子ども像実現のため学びの場を協創する

【事業目的】 会員相互の連携をもとに、学校事務の研究・事務職員制度の確立を推進し、会員の資質向上を図り、もって学校教育および教育行政の推進に寄与する

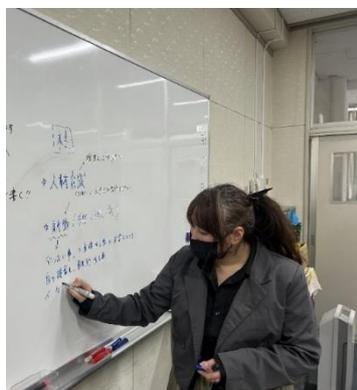
全事研では、「子どもの豊かな育ちを支援する」ことを学校事務のミッションとして掲げ、第10次研究中期計画に基づいた研究と活動が進められています。研究中期計画とは、全事研が掲げるミッション・ビジョンを実現するための戦略の一つであり、学校事務及び事務職員にかかる課題を研究の積みあげによって解決を図る、という視点に立った研究の方向性やあり方を示した指針です。令和6年度に開催された第56回全国公立小中学校学校事務研究大会（本部主管）では、第9次研究中期計画に基づき地域とともにある学校を実現すべく、積みあげてきた研究の成果と課題を検証・総括するとともに、それを踏まえた第10次研究中期計画についての共有が行われました。

令和7年度の第57回全国公立小中学校学校事務研究大会（滋賀大会）は、第10次研究中期計画の年次別課題として設定された「学びの環境整備」をテーマに、7月31日（木）～8月1日（金）の2日間の日程で開催されます。大阪市も8月1日（金）にピアザ淡海において分科会を担当します。

— 研究部活動報告 —

「第57回全国公立小中学校学校事務研究大会（滋賀大会）」では、「組織を通して考える学校教育と学校事務—やったるで！！子どもたちの笑顔と未来のために—」をテーマに研究発表を行います。3月26日（水）に開催された研究部会では、一人一人がこれまで培ってきた知識や経験、研究に対する思いなどについて活発に意見を述べ、研究発表がより良いものになるよう、議論を重ねました。

研究発表の成功に向けて、市事研スタッフが丸となり準備を進めています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



編集後記 全事研滋賀大会に向けて研究部を中心に活動を進めています。会場は遠方にはなりますが、皆様のご参加を心よりお待ちしております😊（N）